



環境活動ノート

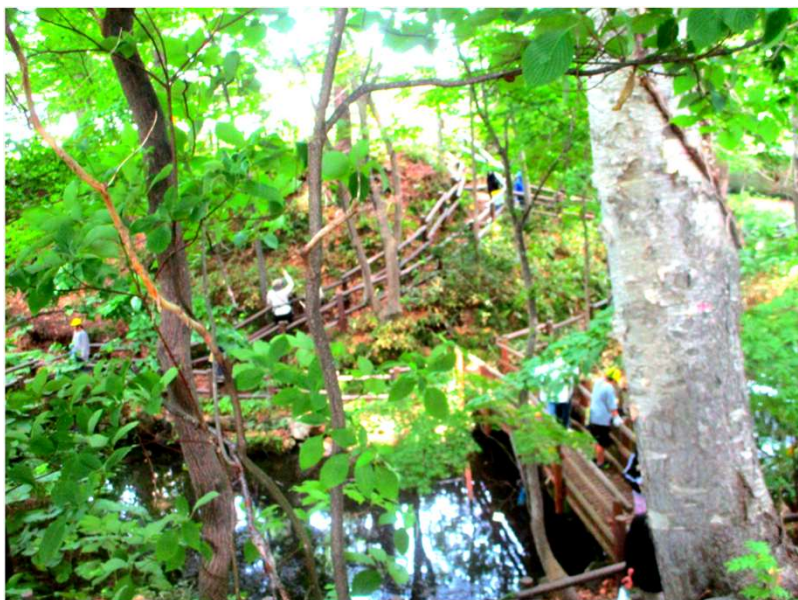


1 枚目

活動名 小野幌小学校 環境委員会腐葉土作り



活動内容を
記入して
ください



さっぽろ
こども環境
コンテスト
2025

私達の通う小野幌小学校には、「学習公園」があります。学習公園とは、広さ 2000平方メートルほどの自然林です。中央には湧き水による池があり、野幌原始林を彷彿とさせるミズナラやヤマグワ、ホウノキなどの多様な広葉樹林の森です。エゾリスやアカゲラなどの野生動物が住み、私達の自然学習の場として活用されてきました。落葉の季節には、たくさんの落ち葉で道やグラウンドが覆われ、全校で落ち葉拾いをしてきました。

これまでは大量の落ち葉が、「燃やせるゴミ」として処分されてきました。せっかくの自然の恵みを捨てるのはもったいないと思い、なんとかできないかと考えました。そして2024年度から、落ち葉による「腐葉土」づくりを試行しました。作成場には、使われなくなった「うさぎ小屋」を活用しました。金網で囲われ、空気も通りやすく、落ち葉を堆積させ腐葉土を作りやすいと考えたからです。

参加団体名

札幌市立小野幌小学校 環境委員会

- 小学校の部
- 中学校の部
- 学校外団体の部

当ではまるものにチェックしてください。



環境活動ノート



2 枚目

活動名 小野幌小学校 環境委員会腐葉土作り



活動内容を
記入して
ください



さっぽろ
こども環境
コンテスト
2025

2024年10月下旬環境委員会が中心となり、腐葉土作りが始まりました。全校児童が学校の敷地の落ち葉を拾い、ウサギ小屋に運びます。そこへ環境委員が札幌市より各校に支給された米ぬかをふりかけ、水をまき、水分を含ませて重ねていきます。あっという間に高さ1mほどに積み上がりました。腐葉土作りの参考にした資料は「旭川市のホームページ 落ち葉腐葉土を作ってみよう」です。みんなは落ち葉を集める楽しさに浸り、例年以上にたくさんの落ち葉を集めることができました。休み時間に多くの方が自主的に活動をしている姿が見られました。

集まった落ち葉は1ヶ月後、「切り返し」を行いました。切り返しとは、落ち葉全体の上下を逆さにして積み直し、水分を均一化することです。冬を越して春6月からも月に1度程度切り返しを行いました。

2025年10月腐葉土の体積は半分程度になりました。色も黒く変わり、葉の形状が細かくなり、「土」のようになりました。それらを環境委員会がバケツで教材園や花壇に混ぜ込みました。環境委員の農園にも混ぜました。

参加団体名

札幌市立小野幌小学校 環境委員会

- 小学校の部
 - 中学校の部
 - 学校外団体の部
- 当てはまるものにチェックしてください。



環境活動ノート



3 枚目

活動名 小野幌小学校 環境委員会腐葉土作り



活動内容を
記入して
ください



さっぽろ
こども環境
コンテスト
2025

環境委員会では、農園に毎年スイカやさつまいも、キャベツ、大豆などの野菜やマリーゴールドやコスモスの花を栽培しています。

空になったうさぎ小屋には、今年も落ち葉を集めています。1年間で腐葉土化することができたので、「落ち葉拾い」→「うさぎ小屋での腐葉土作り」→「教材園や農園への搬入」は、1年間のサイクルとして行うめどがつかまりました。環境委員会は作物栽培と合わせ、腐葉土作りも全校児童へのSDGsの大切さや食物の素晴らしさを伝える活動として続けていこうと考えています。

参加団体名

札幌市立小野幌小学校 環境委員会

- 小学校の部
- 中学校の部
- 学校外団体の部

当ではまるものにチェックしてください。